



## 思春期における教師と保護者の子育て褒め方スキル10

### 褒め方のコツ⑦ 第三者に話して、間接的にほめる!

○生徒(我が子)は、友だちから「お前のこと、先生がほめてたぞ」などといわれると、**実にうれしいもの**です。

・直接言われたときの「また、おだてて...」などの勘ぐりの余地はなくなります。

○教師の常識として、生徒の個々の欠点は他の生徒に言いませんが、また積極的に長所も話さない人が多いような気がします。生徒は褒められたいのに、比べられたくなく欲求が強いからです。



「先生は  
生徒の  
長所を  
ほめて  
くれる  
から  
勉強が  
好き  
だよ」

会話の中身が**過去/現在/未来の話**なのか、注目して聞いてみるようにしています。ケース会議では、特に私は意識しています。

未来についての話で多いのは、**これから起きる事への不安**です。それが自分自身で解決できる可能性があるものと他者に任せないとできないことに分類します。前者は自分が努力できる事であれば最大限努力できるように話します。後者については、不安という感情を理解してあげて、あなたではどうしようもない事柄ですと伝えようと思っています。

次から次へと未来の不安が募る場合は、そのパターンと違ったパターンを示すことにしています。どのようになってほしいか意識をその方向性に導きます。そうするとほぼ9割が思い込みであることがわかります。**人それぞれ、思い方、感じ方が違うからです。**感情に気づくスキルはここでも使えます。

第三者の眼で観る  
先生の言葉は  
心に響く

泥棒ですか？ 母のツッコミ **ただいま**というまで **やりなおし**

青木嶺斗(島根県益田市 中学校3年生)

